

福岡空港 国内線・国際線連絡バスに連節バスを導入！！
4月20日（火）運行開始
 ～ 将来的な旅客需要回復を見据えた環境を整えます ～



（「レインボーラッピング連節バス」：2021年4月20日（火）導入）

- ・福岡国際空港株式会社（福岡市博多区 代表取締役社長執行役員：永竿哲哉／以下「FIAC」）は、4月20日（火）より、国内線と国際線の旅客ターミナルビルを結ぶ連絡バスに連節バスを導入いたします。当連節バスは、FIAC から委託を受け、西日本鉄道株式会社（福岡市博多区 代表取締役社長執行役員：林田浩一／以下「西鉄」）が運行いたします。
- ・福岡空港の2019年の国際線利用者は約640万人に達し、国際線旅客ターミナルビルに向かうための連絡バスは混雑が常態化しておりました。ピーク時にはバスをお待ちのお客さまを1台のバスでは輸送できず、次の便をお待ちいただく状況が発生しておりました。
- ・この度、連絡バスにおける混雑を解消し、よりスムーズに、かつ快適にご利用いただくことを目的に、連節バスを導入することといたしました。現在、コロナ禍において空港の利用者数は大きく落ち込んでおりますが、将来的な旅客需要の回復を見据えて、いつでもお客さまをお迎えできる環境を整えます。
- ・導入する連節バスは全長18m、定員142名と、これまでのバス（全長11m、定員75名）と比べて高い輸送力を有しており、約2倍のお客さまをお運びすることができます。また、車内はバリアフリーに対応したノンステップ仕様であることに加え、立席スペースや出入口が広くなっており、大きな荷物をお持ちのお客さまも、より快適にご利用いただけます。
- ・車体には、FIACが掲げるメッセージ「FLY 100 DREAMS.」を表すレインボーカラーのラッピングを施します。このメッセージは、100路線就航を目指し、“福岡空港を利用されるお客さまの選択肢を拡げるとともに、空港で多くの出会いや新しい発見に繋げて頂きたい”という願いを込めております。
- ・両社は今後も、福岡空港をご利用されるお客さまに、快適に安心してご利用いただけるよう、利便性や安全性の向上に努めてまいります。

【概要】

■連節バスについて

ラッピング： レインボーカラー メッセージ「FLY 100 DREAMS.」

全 長： 18m

座 席 数： 29 席

定 員： 142 名（乗務員 1 名含む）

■連節バスの運行について

運 行 主 体： 福岡国際空港株式会社

運 行 受 託： 西日本鉄道株式会社

運 行 台 数： 連節バス 5 台

所 要 時 間： 片道約 10～15 分

運 行 便 数： 国内線発 83 便、国際線発 79 便（4 月 20 日時点）

運 賃： 無料

〔参考〕ラッピング：レインボーカラー

「FLY 100 DREAMS.」について

FIAC が目指す福岡空港の将来像は『比類なき東・東南アジアの航空ネットワークを有する、東アジアにおけるトップクラスの国際空港』です。その実現に向けて、年間旅客数 3,500 万人、国内外合わせて「100 路線(都市)」に就航することを目標に掲げています。

“福岡空港から 100 都市に直行便を増やすことで、福岡空港を利用されるお客さまの選択肢を上げるとともに、福岡空港で多くの出会いや新しい発見に繋げて頂きたい”という願いを込め、100 の色彩を用いたレインボーカラーを採用しています。